



エストニア月間情勢報告

【2025年9月】

在エストニア日本国大使館



【9月の注目記事】

内政

- 4日、タリン市議会、中央党および保守人民党提出のオシノフスキー市長（社民党）の不信任案を否決
- 24日、政府、209億ユーロ規模の2026年国家予算案を承認。

外交

- 1日、マルティンソン駐日大使、8月末に離任。
- 22～24日、国連ハイレベルウィークの一環で、カリス大統領およびツァフクナ外相が第80回国連総会に出席。

防衛

- 19日、露ミグ31戦闘機3機、フィンランド湾でエストニア領空を侵犯。

経済

- 19日、カナダ Neo Performance Materials 社、約9,600万ユーロを投資してナルヴァ市でレアアース磁石工場を開設。

SNS

大使館HP : https://www.ee.emb-japan.go.jp/itprtop_ja/index.html



中村耕一郎大使インスタグラム : https://www.instagram.com/amb_japan_estonia/

大使館インスタグラム : <https://www.instagram.com/japanembassyestonia/>



大使館フェイスブック : <https://www.facebook.com/share/1Yecpayktp/?mibextid=wwXIfr>

1 内政の主な動き

- 3 日、会計検査院、国防省の下の機関の契約や調達品の管理に関する問題を指摘。
- 4 日、タリン行政裁判所、市民らの訴えを認めてヌルシパル訓練場拡大に関する政府決定を取り消し。国防上の理由による迅速な手続きではなく、通常の手続きが必要と判断。
- 4 日、タリン市議会、中央党および保守人民党提出のオシノフスキー市長（社民党）の不信任案を否決。
- 6 日、エドゥアルド・プロフィットリヒ（Eduard Profittlich）大司教の列福を記念するミサ（於：タリン）。ソ連による占領後も当地に残り、1941年に連行され、翌年にモスクワ近郊で獄死。
- 10 日、国会、ヨッレル社会問題相（改革党）の不信任案を否決。25人が賛成票。中央党および保守人民党が、健康保険基金のイベントを巡るスキャンダル等を背景に提出。
- 17 日、国会、大統領が2度差し戻した教会信徒団法改正案を今回は修正せずに可決。
- 17 日、保安警察、ロシアGRUによる小包爆弾事件に関し、当地のロシア人実業家を拘束。リトアニアから発送の小包が欧州各地で爆発したが、元はナルヴァ市から発送の疑い。
- 19 日、9 月政党支持率（Kantar Emor 社）：祖国党24%、中央党18%、社民党17%、改革党14%、保守人民党12%、右派8%、Koos 党2%、エストニア200党2%。
- 19 日、ラーネメツ社民党首、2021年に党首選の選挙運動費用を現金で支払い脱税したとの告発。業務を請け負った告発者は10月の地方選に祖国党の名簿で立候補。
- 24 日、政府、209 億ユーロ規模の2026 年国家予算案を承認。25 日に国会に提出。国防費をGDP 比5%に増額させる一方、所得税増税を中止し、GDP 比4.5%の赤字。
- 25 日、ヴィル地方裁判所、スパイ罪で Igor Lobin に禁固5年の判決。2017 年から今年5月の逮捕までナルヴァ市でF S B の指示で活動。
- 29 日、レプス元教育相（中央党）、大臣時代の横領及び詐欺で禁固1年5カ月、執行猶予2年の判決が確定。最高裁が弁護側と検察双方の上訴を棄却。

2 外交・その他対外関係

- 1 日、マルティンソン駐日大使、8 月末に離任。
- 1 日、南アフリカ共和国、エストニア国民に対する査証免除措置を開始。
- 1～2 日、カリス大統領、スロベニア訪問。外交・安全保障会議に出席し、ピルツ＝ムサル大統領と安保・防衛問題に関して会談。
- 3～4 日、カリス大統領、ブリュッセル訪問。ルッテNATO 事務総長、メツォラ欧州議会議長と国防費増額やウクライナ支援に関して会談。
- 3 日、ミッハル首相、北欧・バルト・ウクライナ首脳会合に出席（於：デンマーク）。パリ有志連合会議を前にウクライナ軍事支援や安全の保証に関する共同声明を発表。
- 4 日、ロシア外務省、エストニアが8月にロシア等書記官を追放したことを受けて、ストニア外交官の国外退去措置を通告。

- 7～10日、ツァフクナ外相、ビジネス代表团と中東訪問。オマーンではバドル外相と経済関係促進に関して会談のうえ、両国ビジネス協議会を設立することで合意したほか、ビジネスセミナーに出席。サウジアラビアではサウード外相と一般協定に署名し、ビジネスセミナーに出席。
- 8日、コスタ欧州議会議長、EU加盟国歴訪の一環でエストニア訪問。ミッハル首相とウクライナ軍事支援や次期中期予算計画に関して会談。
- 9日、在エストニア・ロシア大使館、軍墓地での兵士墓標の再建はソ連兵埋葬地の冒涇であるとしてエストニア外務省に抗議。ソ連が破壊した独立戦争の墓標を再建中。
- 11日、政府、パレスチナ問題で二国家解決を目指す「ニューヨーク宣言」参加を決定。
- 14日、ペフクル国防相、ウクライナ訪問の発表。シュミハリ国防相との会談で来年もGDP比0.25%（1億ユーロ）以上の軍事支援を約束し、ヤルタ欧州戦略会議に出席。
- 18日、政府、2026年1月からロシアLNGの輸入を完全に禁止する制裁拡大案を承認。2022年にロシアのガス使用の中止を決めたが、パイプライン以外の輸入は対象外。
- 19日、ツァフクナ外相、スウェーデン訪問。ステーネルガード外相と経済関係緊密化やロシアによる領空侵犯に関して会談。
- 22～24日、国連ハイレベルウィークの一環で、カリス大統領およびツァフクナ外相が第80回国連総会に出席。ヨッレル社会問題相、ビジネス代表团も関連会議・行事に参加。
- 25日、ヴィルクネン欧州委員会副委員長（技術主権・安全保障・民主主義担当）、エストニア訪問。首相、国防相、法務・デジタル相と会談し、防衛産業シンポジウムで講演。
- 25～26日、カディス欧州委員（海洋・漁業担当）、エストニア訪問。テラス地域問題・農務相と漁獲量割当等に関して会談。
- 29日、ドムブロフスキス欧州委員（経済・生産性担当）、エストニア訪問。デジタルユーロに関するハイレベル国際会議に出席し、ミッハル首相と会談。

3 防衛

- 5日、国防軍、ウクライナ兵訓練のために北欧・バルト訓練イニシアチブ「Legio」の枠組みで兵士及び国防同盟メンバー10人をポーランドに派遣する旨発表。2024年から2,000人を訓練してきた「Interflex」イニシアチブでの英国派遣は終了へ。
- 7日、ロシアのヘリコプター「MI-8」、フィンランド湾上空でエストニア領空を侵犯。
- 7日、ドイツ当局、キール運河でエストニア Vista Shipping Agency 社の貨物船「Scanlark」を捜索。8月末に同船から発射されたドローンがドイツ軍艦を偵察した疑い。
- 11日、エストニア外務省、ロシア臨時代理大使を呼び出して同国ドローンによるポーランド領空侵犯を非難。国防軍は、エストニア東部の夜間飛行制限を運輸庁に提案。
- 19日、露ミグ31戦闘機3機、フィンランド湾でエストニア領空を侵犯。エストニアの要請で国連安保理臨時会合（22日）及び北大西洋条約第4条協議（23日）が開催。
- 23日、クロセット・イタリア国防相、アマリ航空基地を訪問。今秋に引き揚げ予定だっ

た SAMP/T 防空システムを来春の同国のNATO領空監視ミッション終了まで残す旨発表。

● 23～24日、第19回年次バルト国防会議（ABCD、於：タリン）。佐々木孝博・富士通フューチャースタディーズ・センター特別研究員が登壇。

● 27日、エストニア国防省、PURLプログラムに基づくウクライナ軍事支援に1,000万ユーロ拠出する発表。

4 経済の主な動き

● 9日、Enefit Green 社（再エネ、国有企業子会社）、上場廃止前のインサイダー取引の疑いでカルマス前社長ら4人が容疑者に。

● 10日、富豪ランキング（アリパエヴ紙）：1位カールマン氏（Wise 共同創業者）21億9,000万ユーロ、2位ヒンリクス氏（同）12億ユーロ、3位ヴィッリグ氏（Bolt 共同創業者）11億6,000万ユーロ。

● 15日、商工会議所、30年間会頭を務めたルマン氏が退任し、ヴァールトノウ Cybernetica（IT）社長を新会頭に選出。

● 19日、カナダ Neo Performance Materials 社、約9,600万ユーロを投資してナルヴァ市でレアアース磁石工場を開設。ミツハル首相やライク・ナルヴァ市長が式典に出席。

● 23日、エストニア中央銀行、経済予測を発表。成長率は今年+0.6%、来年+3.2%。

● 23日、財務省、入札で短期国債2億5,000万ユーロ分を発行。

● 30日、経済通信省、大規模投資支援プログラムの最初の対象案件3件を公表。グリーン水素製造施設、ガス火力発電所、クラフト紙工場建設に計約4,400万ユーロ支給。

5 経済関係統計（出典は特に記載がなければ統計庁）

● 第2四半期平均賃金（1日）：前年同月比+5.9%の2,126ユーロ。タリンは2,479ユーロ。

● 8月消費者物価指数（5日）：前年同月比+6.1%。食料品は+9.2%。

● 7月貿易（9日）：輸出は前年同月比+9%の14億ユーロ、輸入は+11%の19億ユーロ。再輸出が26%増加した一方、国内製品の輸出は-1%。

● ジニ係数（23日、ポスティメース紙、欧州中銀）：0.69。欧州で平均的な数値。

6 日本関連報道数

	政治	経済	文化	社会	スポーツ	その他	計
現地記者	0	1	1	0	4	0	6
キャリー	1	0	0	0	0	1	2
不明	0	0	0	0	0	0	0
計	1	1	1	0	4	1	8

（注意）以上の記載内容は、エストニア国内の報道をまとめたものであり、当館としてその記載内容に責任を有するものではありません。